

中津市内水ハザードマップの配布について

近年、都市化の進展や局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）の増加に伴い、全国各地で下水道の排除能力を超える雨水流出が生じており、中津市においても市街地部及び低地部において、たびたび道路の冠水などの浸水被害が発生しています。

上記のような状況を受けて、中津市では平成 26 年度から平成 29 年度にかけて、公共下水道事業計画区域を対象に、現況の雨水下水道施設や地形条件を考慮した浸水シミュレーションを作成し、雨水対策の検討及びハザードマップ作成のための基礎資料を参考として解析を行ってまいりました。

現在の限られた予算で、ハード・ソフト両面での効果的な対策が求められている中、ソフト面の対策として、平成 30 年度に中津市内水ハザードマップの作成を行いました。

今回はこの内水ハザードマップを豪雨時の避難等の参考としていただく為、対象世帯に配布するお知らせを行うものです。

- ◎ 対象区域 : 南部・北部校区版
南部校区 1,496 世帯・北部校区 3,151 世帯

- 豊田・沖代校区版
豊田校区 4,165 世帯・沖代校区 2,932 世帯

- 小楠・如水校区版
小楠校区 3,224 世帯・如水校区 505 世帯

- 鶴居・大幡校区版
鶴居校区 2,781 世帯・大幡校区 1,521 世帯

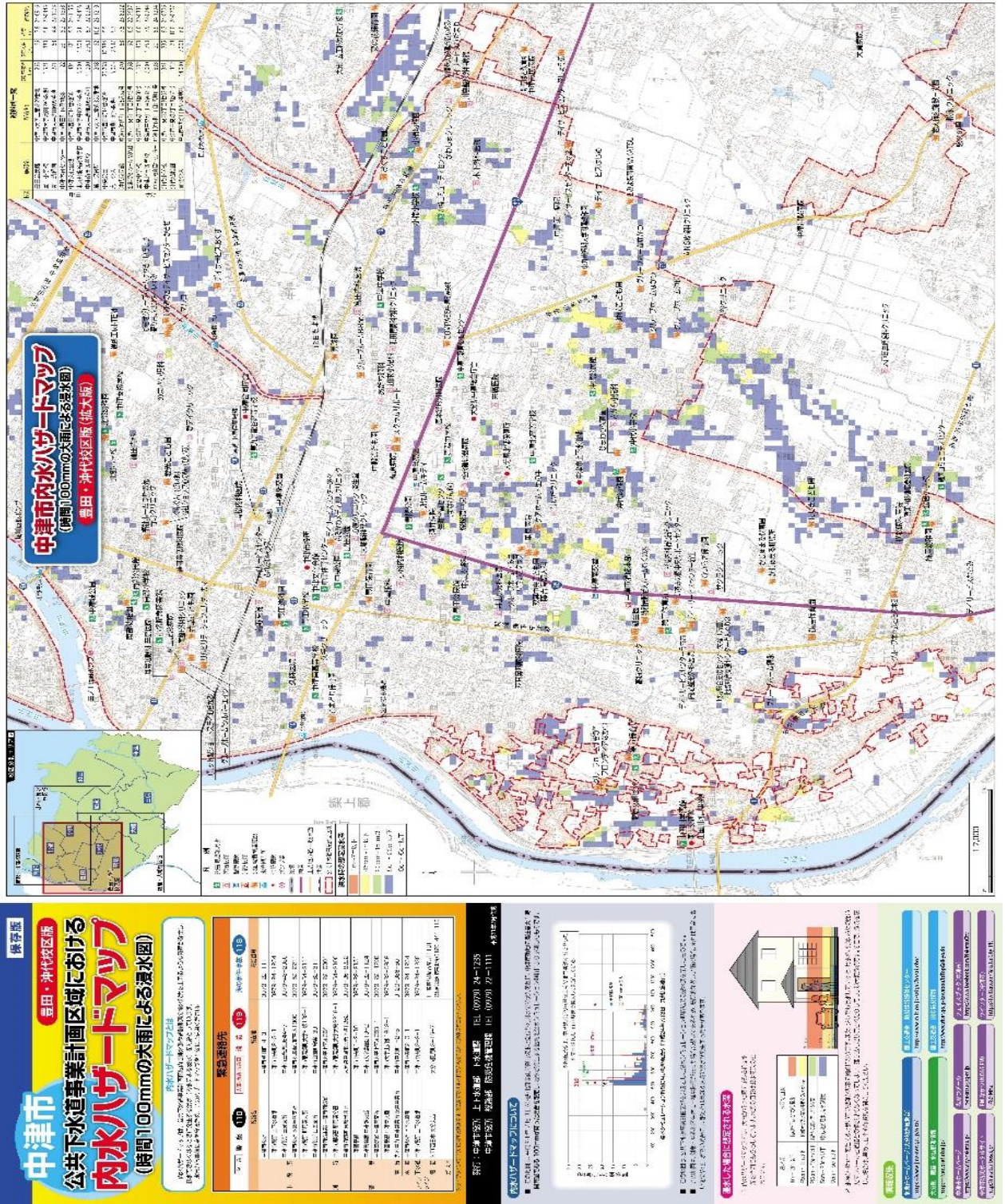
◎ 周知時期 : 市報なかつ 5 月 15 日号で配布

◎ 周知方法 : 対象地域の世帯へ配布

◎ 対象自治区数 : 132 自治区

※マップについては中津市ホームページにも掲載しています。

(表)



中津市 **豊田・沖代校区**

公共下水道事業計画区域における
内水ハザードマップ
 (時間100mmの大雨による浸水圏)

豊田ハザードマップの注
 豊田ハザードマップは、2017年度から2021年度までの計画期間における計画区域の浸水リスクを把握するためのものです。計画区域外は、計画期間中の浸水リスクが低いと想定されています。

区分	浸水リスク
計画区域	浸水リスクが高い
計画区域外	浸水リスクが低い

緊急連絡先
 消防署: 076-23-1191
 警察署: 076-23-1192
 国土交通省: 076-23-1193
 国土交通省: 076-23-1194
 国土交通省: 076-23-1195
 国土交通省: 076-23-1196
 国土交通省: 076-23-1197
 国土交通省: 076-23-1198
 国土交通省: 076-23-1199

国土交通省 国土政策課 (TEL: 0970) 34-2325
 中津市建設課 建設部長 田中 隆夫 (TEL: 0970) 34-1111

水害ハザードマップについて
 本マップは、2017年度から2021年度までの計画期間における計画区域の浸水リスクを把握するためのものです。計画区域外は、計画期間中の浸水リスクが低いと想定されています。

区分	浸水リスク
計画区域	浸水リスクが高い
計画区域外	浸水リスクが低い

本マップは、2017年度から2021年度までの計画期間における計画区域の浸水リスクを把握するためのものです。計画区域外は、計画期間中の浸水リスクが低いと想定されています。

お問い合わせ先
 国土交通省 国土政策課 (TEL: 0970) 34-2325
 中津市建設課 建設部長 田中 隆夫 (TEL: 0970) 34-1111

(裏)

項目	単位	数値	備考
人口	人	112,000	
人口密度	人/ha	1,120	
人口増加率(前年比)	%	0.1	
人口増加率(5年率)	%	0.5	
人口増加率(10年率)	%	1.0	
人口増加率(20年率)	%	2.0	
人口増加率(30年率)	%	3.0	
人口増加率(40年率)	%	4.0	
人口増加率(50年率)	%	5.0	
人口増加率(60年率)	%	6.0	
人口増加率(70年率)	%	7.0	
人口増加率(80年率)	%	8.0	
人口増加率(90年率)	%	9.0	
人口増加率(100年率)	%	10.0	
人口増加率(110年率)	%	11.0	
人口増加率(120年率)	%	12.0	
人口増加率(130年率)	%	13.0	
人口増加率(140年率)	%	14.0	
人口増加率(150年率)	%	15.0	
人口増加率(160年率)	%	16.0	
人口増加率(170年率)	%	17.0	
人口増加率(180年率)	%	18.0	
人口増加率(190年率)	%	19.0	
人口増加率(200年率)	%	20.0	
人口増加率(210年率)	%	21.0	
人口増加率(220年率)	%	22.0	
人口増加率(230年率)	%	23.0	
人口増加率(240年率)	%	24.0	
人口増加率(250年率)	%	25.0	
人口増加率(260年率)	%	26.0	
人口増加率(270年率)	%	27.0	
人口増加率(280年率)	%	28.0	
人口増加率(290年率)	%	29.0	
人口増加率(300年率)	%	30.0	
人口増加率(310年率)	%	31.0	
人口増加率(320年率)	%	32.0	
人口増加率(330年率)	%	33.0	
人口増加率(340年率)	%	34.0	
人口増加率(350年率)	%	35.0	
人口増加率(360年率)	%	36.0	
人口増加率(370年率)	%	37.0	
人口増加率(380年率)	%	38.0	
人口増加率(390年率)	%	39.0	
人口増加率(400年率)	%	40.0	
人口増加率(410年率)	%	41.0	
人口増加率(420年率)	%	42.0	
人口増加率(430年率)	%	43.0	
人口増加率(440年率)	%	44.0	
人口増加率(450年率)	%	45.0	
人口増加率(460年率)	%	46.0	
人口増加率(470年率)	%	47.0	
人口増加率(480年率)	%	48.0	
人口増加率(490年率)	%	49.0	
人口増加率(500年率)	%	50.0	

雨水貯留

雨水貯留槽を設置し、雨水を貯留して再利用したり、浸透させたりすることで、雨水の流出量を削減し、下水道への負担を軽減します。

雨水浸透

雨水浸透施設を設置し、雨水を地中に浸透させることで、地下水を涵養し、河川への流出量を削減します。

雨水利用

雨水を利用することで、水道水の使用量を削減し、コストを削減します。

雨水貯留槽の設置

雨水貯留槽を設置し、雨水を貯留して再利用したり、浸透させたりすることで、雨水の流出量を削減し、下水道への負担を軽減します。

雨水浸透施設

雨水浸透施設を設置し、雨水を地中に浸透させることで、地下水を涵養し、河川への流出量を削減します。

雨水利用

雨水を利用することで、水道水の使用量を削減し、コストを削減します。

雨水貯留槽の設置

雨水貯留槽を設置し、雨水を貯留して再利用したり、浸透させたりすることで、雨水の流出量を削減し、下水道への負担を軽減します。

雨水浸透施設

雨水浸透施設を設置し、雨水を地中に浸透させることで、地下水を涵養し、河川への流出量を削減します。

雨水利用

雨水を利用することで、水道水の使用量を削減し、コストを削減します。

【問合せ先】
 上下水道部排水対策課 担当：川端
 TEL:0979-22-1111 (内線 416)